

## 令和 3 年度 第 1 回沖縄県がん診療連携協議会 医療部会 議事要旨

日 時：令和 3 年 5 月 24 日（月） 15：00～16：00

場 所：Zoom を利用した Web 開催

構 成 員：8 名

出席者：〈Zoom〉6 名：宮里浩（那覇市立病院）、照屋淳（北部地区医師会病院）、伊波善之（沖縄県保健医療部健康長寿課）、朝倉義崇（中部病院）、岸本信三（宮古病院）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター）

欠 席：2 名：松茂良力（八重山病院）、野村寛徳（琉球大学病院第一外科）

陪 席 者：1 名：西銘亜希（琉球大学病院がんセンター）

## 【報告事項】

1. 令和 2 年度 第 3 回沖縄県診療連携協議会 医療部会議事要旨について  
増田副部長より、資料 1 に基づき令和 2 年度第 3 回議事要旨について説明があった。

2. がんゲノム医療外来における他院からの紹介について

**増田副部長**：1 点、大きく変わったことがある。腎細胞がん、膀胱がんは従来通りだが、前立腺がんの取り扱いが変わり、コンパニオン診断的な前立腺がんの遺伝子変異をこの遺伝子パネル検査を用いて診断することになった。そのため前立腺がんだけは、琉球大学病院の泌尿器外科に直接ご紹介していただくことになった。院内での審査が下り次第、文書等で通知させていただく。もう 1 点は、紹介の際に提出していただく診療情報提供書において依然として記入漏れが多いため、ぜひ家族歴も含めて全項目に記載いただきたい。最後に現在紹介いただいている症例に偏りがあるため、受け入れる側としてまだ余裕があるので、ほかのがん種についてもご紹介いただきたい。

**照屋副部長**：遺伝子パネル検査の申込担当者が各病院 1 人で行うのは負担が大きいという意見が友愛医療センターからあったのだが、担当者を増やせないか。

**増田副部長**：現状のまま各病院、担当者 1 人で行っていただきたい。

**朝倉委員**：がんゲノム医療外来において紹介元の地域の内訳を知りたい。

**増田副部長**：中部病院からの紹介が 8 割を占めている。がん種でいうと膵臓がんが全体の半分を占めており、次に多いのが大腸がんでその他は希少がんになっている。

3. 医療部会 委員一覧について

**増田副部長**：資料 3 にある通り、概ね昨年度と同様であるが、患者委員として参加いただいていた又吉委員が昨年度末で委員を辞退され欠員となっているため、現在、別の患者会のメンバーを探しているところである。その他の構成員としては、県内 6 拠点病院から一人ずつ入っていただいている。他の部会では、拠点病院以外の先生や様々な立場の方に入っていただいているので、当部会の委員としてぜひご推薦、ご紹介いただきたい。

4. その他

特になし。

## 【協議事項】

沖縄県庁ホームページに公開された「がん診療を行う県内医療施設」について4月16日に公開された「がん診療を行う県内医療施設」一覧をふまえて、委員のご意見を伺った。議論の前に伊波委員より、医療施設一覧は、資料4-2において示した基準に合致しているかどうかを個々の医療機関に照会した結果をもとに掲載したもののだが、県からの再三の依頼に対して回答いただけなかった医療機関については掲載されていないという点は留意いただきたいと説明があった。

●**大腸がん**：朝倉委員：伊波委員の説明も含めて掲載されている医療機関に違和感はない。宮里部会長：那覇市立病院は大腸がんに関しては基準に達していて問題ないかと思うが、県に回答していないためかどうか不明だが、なぜ掲載されていない点が気になった。照屋副部会長：手術症例は満たしていると思うが、認定医の数で基準に達していないので、その点について病院として動きたいと思う。岸本委員：宮古、八重山病院も胃がんも大腸がんもそれぞれ手術をしているのだが、掲載されていないことで、対応できていないという印象を与えていないか危惧するところである。

●**胃がん**：岸本委員：ESDがハードルになっていると思うが、主だった病院が入っているので問題ないと思う。

●**乳がん**：増田副部会長：乳がんの場合は、要件として、乳がん学会の認定施設か関連施設ということではかなく、率直なところこの掲載施設でよいか。朝倉委員：乳がんの場合、クリニックを中心とした沖縄県の診療体制を考えれば、このような掲載にならざると得ないと思う。

●**肝臓がん・胆道がん・膵臓がん**：宮里部会長：認定の基準によるかと思うが、もう少し高度の医療に対応できているかということでもう少し施設を絞ってもいいのではないか。朝倉委員：当院で肝臓の手術で最も多く執刀していた医師が転勤になったこともあるため、各がん種で対応できる医師に各病院で流動が見られるため、対応可能施設かどうかを定期的に繰り返し議論していく必要がある。増田副部会長：この分野においては県内の専門医が高齢化している印象もあり、今後の専門医の育成を考えていく必要があると思う。岸本委員：今後の掲載基準として、認定施設及び関連施設ということで、治療実績に見合った掲載を希望する。

●**食道がん**：宮里部会長：ある程度、琉球大学病院に集約化したほうがよい。ここまでの協議をふまえ、県との調整のうえ、定期的に議論していくこととなった。

## 2. 次回の開催日程について

増田副部会長より、議事次第のとおり説明があった。

## 3. その他

朝倉委員：医療部会の役割として人材育成があるが、腫瘍内科医の数が県内では少なく育成に手間取っているが、今年4月より沖縄協同病院にカナダで研修されてきた安次嶺先生が戻られたので、この医療部会にご参加いただきたい。当院も琉球大学病院とともに臨床腫瘍学会のがん薬物療法専門医の認定研修施設となっているが、現在は都道府県単位で専門医の承認を行うことになっており、琉球大学病院が沖縄県の代表となっているので、専門医の指導や認定など増田副部会長に相談させていただきたい。

増田副部会長：引き続き対応していきたい。 ※以上をもって本会議を終了した。